



平素より十六銀行をご利用いただきありがとうございます。

皆様に、当行に対するご理解をより一層深めていただくため、中間期ディスクロージャー誌を作成いたしました。

さて、金融機関を取り巻く環境をみますと、景気の回復を受けて、収益機会の獲得に向けた金融競争が一段と激しさを増しております。また、利用者保護への社会的な要請が強まるなか、従来に増してコンプライアンス態勢の強化が求められております。

当行におきましても、競争優位性を確立し、地域における存在感を高めていくことにより、一層の収益力の強化と健全性の向上を図っていくことが重要な課題となっております。また、多様化・複雑化するお客様のニーズに的確に対応していくためにも、コンプライアンス態勢をより強固なものとしていかなければなりません。

かかる課題に対し、当行は、平成18年度から平成20年度までの3か年を計画期間とする第10次中期経営計画に基づき、金融サービス業としてお客様に真に満足していただけるよう、サービス・事務・コンプライアンスなど、あらゆる品質の向上に努めるなかで、収益力・健全性を兼ね備えた「地域において圧倒的な信頼が得られ、親しまれる銀行」を目指して取り組んでおります。

また、お客様の真の満足を目指した行動はすべからずコンプライアンスにも適うものであり、かかる観点に立ち、コンプライアンス態勢に万全を期すよう努めております。

こうした取り組みを通じて、本年10月の創立130周年を節目とし、将来に向かってさらなる発展を目指してまいります。

皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成19年1月

取締役頭取 **小島 伸夫**